

### 「こころのわ」第30号 CONTENTS

2・3面	<b>特集「夢育～夢を育む教育～」</b>	7面上段	<b>いじめ防止ポスター・標語入賞作品紹介</b> すぐれた作品が大集合!
4・5面	<b>「私」が語る県立高校の魅力</b> 県立高校には、魅力がいっぱい! 生徒や保護者、地域の方が各校の魅力を語ります!	7面下段	<b>子育てQ&amp;Aコーナー</b> 子どもの自己肯定感を高めるためのかわり方の工夫について紹介!
6面	<b>わが家のすこやか日記</b> 毎年大好評! 笑いあり、涙あり、感動間違いなし!	8面	<b>知ってください、性の多様性について</b> 家庭ではちょっと話しにくい性のこと、考えてみませんか?

ゆめ いく

# 特集 「夢育」 ～夢を育む教育～

### 岡山県の「夢育」が目指すもの

岡山県の教育では、「知育」「徳育」「体育」をバランスよく促進し、心豊かに、たくましく、未来を切り拓いていける人材を育成するため、これまで様々な学びを通じて、必要な資質や能力を養ってきました。

それに加えて、「夢」を育み、その実現に挑戦することで、「意欲」や「自信」などの「自分を高める力」を養う「夢育」に取り組んでいます。

「自分を高める力」を養うことにより、「知育」「徳育」「体育」における子どもたちの学びをさらに促進することができるのです。

詳しくは、  
2・3面の「特集」を是非ご覧ください!

学校・家庭・地域が連携して、「夢育」を推進していきましょう!

### 県教育長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症は、依然予断を許さない状況が続いております。罹患された方々には心からお見舞いを申し上げますとともに、医療の最前線で奮闘して下さっている医師、看護師、医療スタッフなど、医療従事者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

3月に学校の一時臨時休業が始まり、4月にやっと再開されたかと思えば、再び5月末まで臨時休業となり、児童生徒の皆さんは、様々な不安を抱えながらも、各家庭で自身の健康に気を配りながら、根気強く学習に取り組んでくれました。また、保護者の皆様には、子どもたちの規則正しい生活や家庭での学習を進める上で、多大なるご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

こうした中、県教育委員会では、市町村教育委員会と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底することで、児童生徒の皆さんに安全で安心な学習環境を確保するとともに、これまでの臨時休業による学習の遅れを一

日も早く取り戻すことができるよう取り組んでまいりました。また、文部科学省主導で推進している、1人1台の学習者用コンピュータ等の端末と高速大容量の通信ネットワークを整備する計画である「GIGAスクール構想」を実現し、通常の授業の中でさらに積極的にICT機器を活用するとともに、仮に再度の臨時休業を行わざるを得ない状況になっても、インターネットを介して、授業動画や学習課題の配信、オンラインでの双方向の授業などを実施し、児童生徒の皆さんの学びを止めることがないように、計画的に準備を進めております。

保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

岡山県教育委員会 教育長 鍵本 芳明

ゆめ いく  
「夢育」  
～夢を育む教育～



子どもたちは夢を持っているの？

□小中学生に関するデータ

県内児童生徒(岡山市を除く)の回答	小6	中3
「夢や目標がある」	66%	44%

全国学力・学習状況調査(平成31年4月実施)より

これらの数字を見て、どう感じるでしょうか。子どもたちが抱く「夢」の大きさや実現の難しさは、発達段階や周囲の環境などによっても異なります。上記や右記の回答も、多くの子どもたちが「夢」を将来就きたい職業や、かなうまでに時間のかかる大きな望みととらえている結果なのかもしれません。

□高校生年代に関するデータ

「将来の夢を持っている」と答えた17～19歳男女の割合の各国比較

日本	60.1%
インド	95.8%
インドネシア	97.0%
韓国	82.2%
ベトナム	92.4%
中国	96.0%
イギリス	91.1%
アメリカ	93.7%
ドイツ	92.4%

日本財団「18歳意識調査」調べ(2019年)



「夢」ってなんだろう？

「あなたの夢は何？」と尋ねられたら、子どもたちは何と答えるでしょうか。「プロサッカー選手になる」「世界一周旅行に行く」など、将来就きたい職業や、かなうまでに時間のかかる大きな望みを答える子どもが多いかもしれません。



岡山県教育委員会が考える「夢」と目指す「夢育」とは？

「夢」=今はできないけれど、実現したいこと

人生の目標となるような大きな夢を育むことは素晴らしいことです。しかし、「今すぐやってみよう」と思う身近な目標を「夢」として挑戦していくことも、とても大切なことではないでしょうか。

「夢育」=「夢」を育み、その実現に挑戦することで、「自分を高める力」を養う教育

「夢育」では、子どもたちが多様な経験や多くの人々との出会いの中で、自分からやってみたいと思える「夢」を見つけることを支援します。そして、子どもたちはその実現に向かって挑戦していく経験を繰り返しながら、意欲や自信などの「自分を高める力」を養い、学びに主体的・積極的に取り組むようになります。やがて「自分はどう生きたいのか」という自分の人生について考える取組にまでつなげていきたいと考えています。



保護者の皆さんへ  
教育方法学の専門家  
岡山大学  
中山 芳一  
先生からのメッセージ

コロナ禍で皆さんは、いまがどれだけ先の見えない時代かを実感されていることと思います。これからそんな時代を生き抜く子どもたちは、決まりきった正解ではなく、様々な状況に応じた納得解を見出せなければなりません。だからこそテストで測れない非認知能力が、いま多くの国々で注目を集めているのです。さらに、そこには自分の「生き方の軸」が必要となります。ガッシリと変わらぬ柱ではなく、変化に対応できるためのしなやかさを持ち合わせた軸です。思いきり考え、悩み、迷ったとき、自ら大切にしたい生き方と照らし合わせて、決断と行動と反省をできるようになってほしい！子どもたちには、「夢育」でそんな軸を育ててもらいたいですね。

家庭から始める「夢育」の  
2つのステップ！

子どもたちが夢を育むため、保護者をはじめとした周囲の大人はどのようにかかわればいいのか。以下の2つのステップを意識してみましょう。

STEP 1 いろいろな体験をさせる

子どもたちが「やってみたいな」と思える小さな夢を自分の中に育むことができるよう、多様な体験をし、また多くの人々と出会えるように支援しましょう。そして、その夢への挑戦にあたっては、「伴走者」として子どもたちの主体的な取組を応援しましょう。

STEP 2 子どもの良さを見つけ、伝える

STEP1のプロセスで子どもが見せる自分の良さを大人が見つけ、それを子どもに伝えることで、本人に意識付け、その行動を強化していくことが大切です。行動を見逃さず、適切なタイミングで伝えていくことで、子どもたちも自覚して、そんな自分になろうと努力していきます。



自分を高める力の育成  
(「意欲」や「自信」など)

こうした「自分を高める力」は、数値化できない「非認知能力」ですが、「夢育」でこうした力を養うことは、「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力」の育成にも、相互作用的にプラスの影響を与えられています。

お悩みにお答えします！



「うちの子どもには夢がないようです。」

自分の中に「夢」を育む時期は、一人ひとり違います。その子の中に「やってみたいな」という思いが芽生えるのを根気強く応援していきましょう。

「小さいころからずっと持っていた夢が最近変わってしまったようです。」

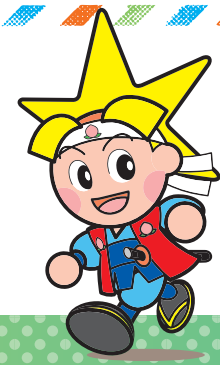
成長の過程で自分自身や社会について知る中で、現実の社会と折り合いをつけながら、軌道修正を加えることもあります。変化のきっかけや理由を丁寧に聞き、考えが深まった過程を理解し、夢への挑戦を応援していきましょう。





# 学校・家庭・地域が連携して、「夢育」の推進を!

「夢育」は、家庭教育はもちろんのこと、学校教育や社会教育においても互いに連携を図りながら進めるものであり、就学前から始まり生涯を通じて継続していくものです。学校や地域には、子どもたちが夢を育む「体験の場」がたくさんあります。



学校

地域



## 各種コンテストへの挑戦 (「サイエンスチャレンジ岡山」)

高校生がチームを結成し、科学の甲子園を目指して科学の難問に挑戦しています。



## 企業と連携した商品開発 (県立倉敷琴浦高等支援学校)

企業の方のアドバイスを基に商品の企画・製作・販売までを一貫して行っています。



## 地元企業による就職支援

(「ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～」)

地域の企業の採用担当者との面談を通して、働く意義や自分の良さに気付いています。



## 授業における1人1台端末の導入 (県立倉敷天城中学校)

PCやタブレット端末の活用を通して、学習の個別最適化を進めています。



## 企業と連携した商品開発 (県立岡山南高等学校)

岡山名物を詰め込んだ駅弁「岡山名物大集合」は、人気商品となっています。



## 「中学生だっぴ」 (高梁市)

中学生が大学生を介して地域の大人と語り合い、視野を広げ考えを深めています。



## 総合的な学習の時間における プログラミング教育の導入 (奈義町立奈義小学校)

地域探究活動にプログラミング的な思考を取り入れて進めています。



## 職場体験 (県立津山中学校)

職場の雰囲気を感じ、体を動かすことが職業観・勤労観の育成につながります。



## 「未来商店街」 (久米南町)

中高生を中心とした実行委員会が地域団体等と連携し、旧商店街の活性化を図ります。



## 外国との遠隔交流授業 (和気町立本荘小学校)

ICT機器を活用して外国の学校とやり取りを行い、より実践的な授業にしています。



## 仕事体験 (玉野市立荘内小学校)

機器に触れ、プロのお話を直接聞くことで、体験がより充実したものになります。



## 「きつず☆ユニバ」 (県生涯学習センター)

県立の8つの施設での出会い・発見・感動を通して、学ぶ楽しさを味わいます。

※上記の各写真は、新型コロナウイルス感染症の拡大以前に実施した事業等で撮影したものを含まれます。現在は、各学校や各事業等において、マスクの着用や人との距離を保つといった「新しい生活様式」を実践し、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で活動しています。

# 「夢育」を推進し、子どもたちが「なりたい自分」に!

「夢育」は「You Make…(なりたい自分にきつとなる)」です。「なりたい自分」になろうと挑戦する子どもが育つ岡山を目指して、子どもたちに寄り添いながら、一緒に応援していきましょう。





# 「私」が語る県立高校の魅力

県立高校では、授業や部活動、海外交流など様々な活動を通じて、夢に向かって挑戦する高校生を全力で応援しています。ここでは、挑戦し続ける高校生と、それを支える方々から、高校の魅力について語ってもらいました。



校章をスマホでスキャンすると、各高校の映像をご覧いただけます。

- ①無料アプリ「COCOAR2」をダウンロードして、アプリを起動する。
- ②各校の校章にカメラをかざして、画面下部にあるスキャンボタンを押してください。

アプリのダウンロードはこちらから



## 高梁城南高等学校

### 人間づくり～夢づくり～

電気科・デザイン科・環境科学科からなる専門高校です。ものづくりや体験的な学習を通じて主体的・対話的に学ぶことで豊かな人間性を養い、地域に必要とされる人材を輩出できる学校です。現在、高校生によるカフェの開店に向けて、メニュー開発・内装工事・インテリア制作などの準備を進めています。



猫城主さんじゅーろーを題材にした洋菓子「ニャドレーヌ」の開発や、東京での出張カフェの開催など、高梁城南高校の魅力あふれる取組と行動力がワクワク感がとまりません!

ロボコンで全国大会出場!

「備中松山城」城前広場でカフェ

卒業制作展・課題研究発表会

地域連携・地域貢献の拠点として、高校生が作り、運営する「Jona Cafe」を来年4月OPENするために3科が連携して活動中です。作業工程はHPやInstagramで公開しています!



高梁市観光協会専務理事 大場 基成さん



電気工士の国家資格も取得



電気科3年 三村 雅人さん

## 玉島高等学校

### TAMA STAGE ～一人ひとりが主役～

生徒一人ひとりが光り輝き、夢に向かって学習活動、生徒会活動、部活動、社会貢献活動、国際交流に主体的に取り組んでいます。文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」に指定され、地域社会との共創による探究活動に取り組んでいます。



玉島高校では、皆が勉強・部活動・学校行事に全力で取り組んでいます。私も素敵な友達と出会い、とても有意義な3年間を過ごすことができました。

SSH指定校、本格的な探究活動

部活動は全国大会出場多数!

探究活動 プレゼンテーションアワード



岡山大学教育学部 佐藤 真南さん



国際交流、カナダに姉妹校も!

SSHの指定校である本校は、普通科・理数科にかかわらず、学習・部活動・国際交流・校外でのボランティア活動などに積極的に取り組み、一人ひとりの個性をしっかりと高められる学校です。



理数科2年 岡部 陽記さん・杉井 佑匡さん

## 倉敷商業高等学校

### 至誠GO健 地域のタカラ、倉商生がチカラに

「至誠剛健」を校訓とし、商業に関する専門的な学習、各種の資格取得、部活動やボランティア活動に取り組み、社会で通用する人間力を培っています。また、販売実習や観光ガイド等にも挑戦し、地域の皆様に支えられながら地域を支える人材の育成を目指します。



ボランティア活動で多くの人と接することで、今の職種に興味を持ちました。私の場合、何より積極性を身につけられたことが倉商で過ごした3年間の財産です。

地域を学ぶ課題研究

地域の方とボランティア活動

地方創生政策アイデアコンテスト

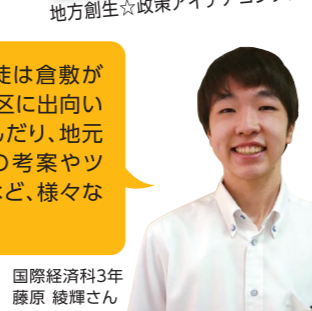


日本郵便株式会社中国支社 岡田 麻佑さん



誇りをかけて岡山東商との定期戦

倉敷商業高校の生徒は倉敷が大好きです。美観地区に出向いて倉敷について学んだり、地元食材によるレシピの考案やツアープランの立案など、様々な活動を行っています。

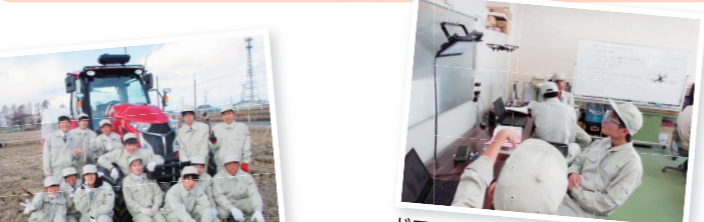


国際経済科3年 藤原 稜輝さん

## 興陽高等学校

### スマート農業の導入でより発展する農業教育

ICTの活用でイメージが変化する農業界。本校では、ロボットトラクタによる作業効率化やドローンとGPS付田植機の連動による施肥管理、温室等のIoTによる監視・制御を行っています。魅力ある授業から夢を描き、国立大学進学を実現する生徒も毎年います。



ロボットトラクタの体験講習会

ドローンのプログラミング実習

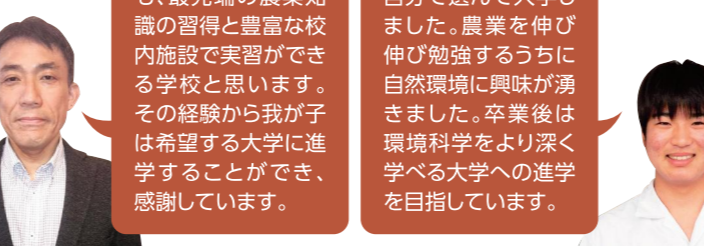


GPS付可変施肥田植機での実習

コンピュータによる温室制御実習



農業関係者から見ても、最先端の農業知識の習得と豊富な校内施設で実習ができる学校だと思います。その経験から我が子は希望する大学に進学することができ、感謝しています。



岡いちご園代表 岡 明弘さん

農業に興味を持ち、自分で選んで入学しました。農業を伸ばし勉強するうちに自然環境に興味を湧きました。卒業後は環境科学をより深く学べる大学への進学を目指しています。

農業科3年 吾妻 拓さん

## 和気閑谷高等学校

### 地域に根ざし一人ひとりを伸ばす活動

創学350年の伝統を受け継いで、また、文部科学省の地域協働推進校、岡山県立高校初のコミュニティ・スクールとなり、和気町、備前市、赤穂市と連携して、より魅力的な学校づくりや地域の活性化に取り組んでいます。1人1台のタブレットや、海外の高校5校との姉妹校交流など学習環境も充実しています。



生徒たちは、姉妹校や地域との様々な交流活動、タブレットを活用した学習、多くの資格取得などができ、先方にも思われて充実した高校生活を送っています。

韓国と台湾との姉妹校交流

タブレットでのオンライン学習

閑谷学での卒業探究発表会



コミュニティ・スクール委員 岡嶋 尚志さん



地域の方の強力な支援

本校の魅力は、韓国、台湾との姉妹校交流があることです。昨年度は、台湾の生徒が本校を訪れ、日本文化である着付けや和菓子づくりを楽しみました。



普通科2年 藤原 彩さん

## 岡山操山高等学校

### グローバル・リーダー 和して流れず

伝統校でありながら、絶えず新しいことにチャレンジ。文部科学省「ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業」のキャリア開発拠点校に指定されました。「和して流れず」の精神で、未来の岡山と世界のWell-being(幸福)に貢献するグローバル・リーダーを目指します。



「多様な生徒像!」どんな学校にも使われる常套句だが、岡山操山高校のための言葉ではないか。学び、趣味志向、自己表現への志、全てが幅広く包摂され、真にグローバル的である。

論戦炸裂ディベート大会

世界をつなげる豪州姉妹校

課題研究総決算未来航路発表会



東京大学文科3類 神崎 陽多さん



先進GIGAスクール1人1台PC

課題研究、海外研修、国際塾、様々な校外プログラムへの参加を通して、岡山操山高校には、世界に目を向け、羽ばたける機会が広がっていると感じています。



普通科3年 廣瀬 彩乃さん



令和元年度 / **大好評!** わが家のすこやか日記 

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、昨年度お寄せいただいた作品のうち、優秀賞10作品を紹介いたします。

子どもから一般の皆様よりお寄せいただいた作品には、家族への愛情や感謝、温かい心と心の通い合い、それぞれの家庭のルールなど、すばらしい家族模様が描かれています。

子育て中の方はもちろん、多くの方に、子育てのすばらしさや、家族の絆の大切さなどをお届けできれば幸いです。

※学年は令和元年度のものです。

**おかあさんといっしょに  
よみたいで賞**

**だいすきなじかん**

ぼくは、まいにち、よるねるまえに、おかあさんといっしょにえほんをよんでいます。どんなにいそがしいひでも、ぜったいによみます。おかあさんといっしょにほんをよむと、すぐうれしいきもちになります。これからも、まいにちよみたいです。



備前市立東鶴山認定こども園 西上 颯真さん

**おとうさんとお  
おわらいで賞**

**お父さんのズボンのあな**

お父さんが、しごとからかえってきた。ズボンに、あながあいていた。わたしは、大わらいました。お父さんが、かえってきたら、わたしは、大すきなぶどうを食べるときより1000まいうれしい。おもしろいことがあったら、2000まいおもしろい。ズボンのあながあくぐらいはたらいてくれて、ありがとう。



倉敷市立中洲小学校 1年 橋本 菜央さん

**守れるルールが  
必要で賞**

**ルールを変える**

ルールをやぶってずっとゲームをしていたことが、ついにばれてしまった。しかし、両親はおこらず「ルールを変えようか。」と言ったので、ルールを変えました。今では、そのルールに不満はなく、今もルールを守って楽しく生活しています。



高梁市立高梁小学校 4年 渡邊 颯輔さん

**お互いを思いやる  
気持ちは温かいで賞**

**分かりにくい思いやり**

雪が降り始めた夜、父と母がけんかをしていた。こっそり聞いていると、父は、「スリッパでもしたら危ないからタイヤを替える!」母は、「かぜでもひいたらどうするん!」と言い合っていた。でもよく考えると、互いを思っけてけんかをしているのだと思った。父と母はけんかをしているのに、私は「ふふ」って笑った。



県立高梁高等学校 2年 村上 恵里奈さん

**家族みんなで  
考えるで賞**

**今週のこんだて**

わたしの家では、一週間ぶんの夕よくのこんだてを、みんなで考えます。その方が、おかあさんもたすかるし、じぶんのたべたいものをリクエストできるから、うれしいです。休みの日には、一週間分のしょくざいを、みんなでスーパーに買いものに行きます。カレーやぎょうざを、かぞくでつくったりもします。わたしは、その時間が大好きです。



倉敷市立万寿小学校 2年 安藤 紗英さん

**母のおにぎりで  
パワーが出るで賞**

**魔法のおにぎり**

僕が辛いときやイライラしたとき、悔しいとき、いつも何も言わずに、お母さんが大きなおにぎりを作って、そっと差し出してくれます。それを食べると、魔法にかかったように色々なイヤな気持ちが飛んでいき、パワーが出ます。何も聞かずにそっとしてくれる大きなおにぎりが、僕は大好きです。ありがとう。



岡山市立京山中学校 2年 善木 玲偉さん

**母とのハグはエネルギーで賞**

**愛情のハグパワー**

私の母は、夜おそくまで働き、土日も家にいないことがほとんどです。だから、私はいつもさみしいなと思います。母はよく仕事が行事とかぶって、参観日はほとんどお父さんです。でも、いつも帰ってきたら「ただいま」と、抱きしめてくれます。私は、それがうれしいです。忙しくて疲れていても朝早く起きて、朝食や弁当を作り、洗たくもして、私たちのことを一番に思ってくれています。母は、朝出かけるときも、抱きしめて「大好き」と言ってくれます。そうしたら私も一日がんばれます。母とのハグは、私のエネルギーです。



新見市立新砥小学校 6年 石川 絆さん

**たくさんの人を笑顔にしたいで賞**

**ぼくのゆめ**

ぼくのゆめは、ケーキ屋さんになることです。ケーキが大好きなのはもちろんだけど、理由はもう一つあります。ぼくの家では、たん生日やクリスマスの時に、はこのまわりにすわります。そして、はこをのぞきこんで、お母さんがふたをあけるのをワクワクしながら見ています。そして、あけたとたんみんなで「わー。」とうれしそうに声をあげます。ぼくもうれしい気分になります。そんな気分にするケーキをいっぱい作って、たくさんの人を笑顔にしたいです。

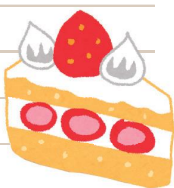


新見市立西方小学校 3年 角田 結翔さん

**子どもからの思いやりはうれしいで賞**

**母の誕生日**

自転車で塾に通っている中学生の長男が、いつもの時間になっても塾から帰宅しない。外はすでに真っ暗。心配からいらだちをつのらせる母。「ただいま。」と元気よくドアを開けた長男が、「お母さん、誕生日おめでとう。」と差し出した小さなケーキの箱。そうか、今日は自分の誕生日だった。400円しか持っていないで1ピースしか買えなかったなんて。用意していたお説教の言葉をぐっと飲み込み、涙をこらえながら「ありがとう。」と言うのが精一杯だった。



岡山市 飯塚 朋美さん

**やっぱりみんなと一緒にいいで賞**

**わが家は毎日大せんそう!**

「トイレ、トイレ。」とうるさく一日が始まり、順番待ちで朝からがまんの日。大好物のものがでると、「じゃんけんぽん!!!」がこーれい。一番に選ばないことが当たり前。でも夏休み、おばあちゃんのおうちに泊まりにいったことがあった。うるさくても、けんかしても、がまんしてても、やっぱりみんなと一緒にいいな。五人きょうだいでよかった。お父さん、お母さん、ありがとう。



倉敷市立味野小学校 5年 尾池 星奈さん



令和元年度

# 「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター・標語」県教育長賞・優秀賞作品

県教育委員会では、6月の第1月曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、「いじめ防止ポスター・標語」の募集を行っています。次の作品は、令和元年度に応募のあった作品のうち、県教育長賞及び優秀賞を受賞された作品です。 ※学年は令和元年度のものです。

## 岡山県教育委員会教育長賞

### ポスターの部



今、いじめで命をなくしている人も多し、犯罪みたいなことも起きています。だから、このポスターを描きました。こんな悲しいことはこれからはなくなってほしいです。

総社市立総社東小学校 2年 岡本 彩乃葉さん

### 標語の部

気付いてよ 本当の笑顔じゃないことを



「本当は作り笑顔だよ、本当は辛いんだよ」と誰かに言いたいけれど誰にも言えないという思いから、この標語を作りました。「辛い」という気持ちに気づいてもらえ、本当の笑顔でいられる人が増えればいいなと思います。

倉敷市立真備東中学校 3年 山本 悠月さん

目を合わせ 画面通さず それ言える？



スマホでは簡単に打てても、目を合わせて伝えるとなると喉(のど)につかえてためらってしまう言葉があるでしょう。相手を傷つけてしまわないか、きちんと考え直すからです。この姿勢を画面越しでも意識してほしいものです。

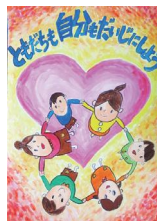
県立岡山操山高等学校 2年 辻川 桜子さん

## 優秀賞

### ポスターの部



笠岡市立中央小学校 1年 中西 咲帆さん



高梁市立高梁小学校 3年 月本 奈那さん



笠岡市立大島小学校 4年 大島 実和さん



岡山市立政田小学校 6年 若本 陽奈さん



美咲町立柵原中学校 1年 池下 由祐さん



岡山市立福南中学校 2年 藤本 琴羽さん



倉敷市立玉島北中学校 3年 佐藤 ひよりさん



私立倉敷高等学校 3年 栗山 光希さん

### 標語の部

いわないで ころがちくって することば  
いじめゼロ できたみんなに 金メダル  
さがそうよ だめなとこより いいところ  
あっちいけ そのきもちこそ あっちいけ  
見のがすな 友達からのSOS 迷わず報告、相談だ  
傷つけた 自分も言われて 気が付いた  
考えて それは良いこと?悪いこと? いじめ防止は自分から  
「いじめない」 口先だけに になってない?

里庄町立里庄西小学校 1年 水田 慈さん  
倉敷市立連島神亀小学校 2年 有本 琉己さん  
高梁市立高梁小学校 3年 井口 由貴さん  
倉敷市立琴浦東小学校 4年 清板 響一郎さん  
玉野市立田井小学校 5年 小柳 結愛さん  
玉野市立荘内小学校 6年 大賀 ひなのさん  
倉敷市立下津井中学校 1年 川邊 ちとせさん  
美作市立作東中学校 2年 春名 あいみさん

## 子育て Q&A コーナー

# 子どもの自己肯定感を高めるために



息子の個人懇談に行った際、担任の先生から、「お子さんは少し自己肯定感が低いところが気になります。家でもしっかり褒めてあげてください」と言われました。今まで、できたことは褒めてきたつもりですが、自己肯定感のことを考えて褒めたことはありません。どのように声をかけるとよいのでしょうか。



「自己肯定感」は、様々な言葉で表現されますが、「自分の在り方を積極的に評価できる感情」「自らの価値や存在意義を肯定できる感情」と言えます。確かに、自己肯定感は褒められたり、認められたりすることで育ちます。子どものよいところを、その時々、子どもに伝えるように表現することが大切です。テストでよい点が取れたとか、部活動の試合で勝ったというような時、「すごい!」「すばらしい!」と褒めることもよいのですが、もっと小さなことでもよいので、日常生活の中で、やるべきことをやった時、頑張ってやろうとした時に注目するとよいでしょう。例えば、「眠くても歯磨きができたね」「あなたの「おはよう!」っていう声を聞くと、私も元気になるよ」というように、日々の子どもの行動に対して、「OKだと思っている」ことが伝わるような褒め方、認め方がいいですね。

また、何かをやりとげた時以外にも子どもを褒める機会はたくさんあります。例えば、「宿題をちゃんと終わらせたね」と褒めるだけでなく、やり始めた時に「宿題に取りかかったね」と認め、宿題をしている途中で「頑張ってやっているね」と声をかけることで、一つの行動を何度も認めることができます。認められることで子どもは、「ああ、やっぱりこれでよいのだ」と自信をつけていき、その積み重ねが自己肯定感を育てていきます。

日常生活の中には、子どもが「よくできた」「これはいいことだ」と思っていることがたくさんあります。自己肯定感とは、自分でもよくやったと思うことを、そのとおり「よくやっているよ」と認めてもらえることでよりよく育つと言われていました。「やさしいね」「しっかりしているね」などと褒める時には、少し具体的に伝えるようにしてください。例えば、「やさしい」と思ったならば、そこには「やさしい」と感じるもとになった様々な行動があるはず。横断歩道を渡る時に弟と手をつなぐ、台所で忙しく働く親に「手伝おうか」と声をかけるなどです。「○○していて、やさしいね」「○○と言ってくれてうれしいよ」のように、子どもの行動と、親として感じた気持ちを合わせて伝えるとよいでしょう。自己肯定感とは、自信をもって何でも前向きに取り組むベースとなるほか、相手の気持ちを理解する力のもとにもなると言われています。自分や相手の気持ちを理解することができれば、コミュニケーションの力が育つことにもつながります。ここで述べたことが褒めること、認めることの全てではありませんが、ヒントにいただき、お子さんのためにできることから始めていただければと思います。

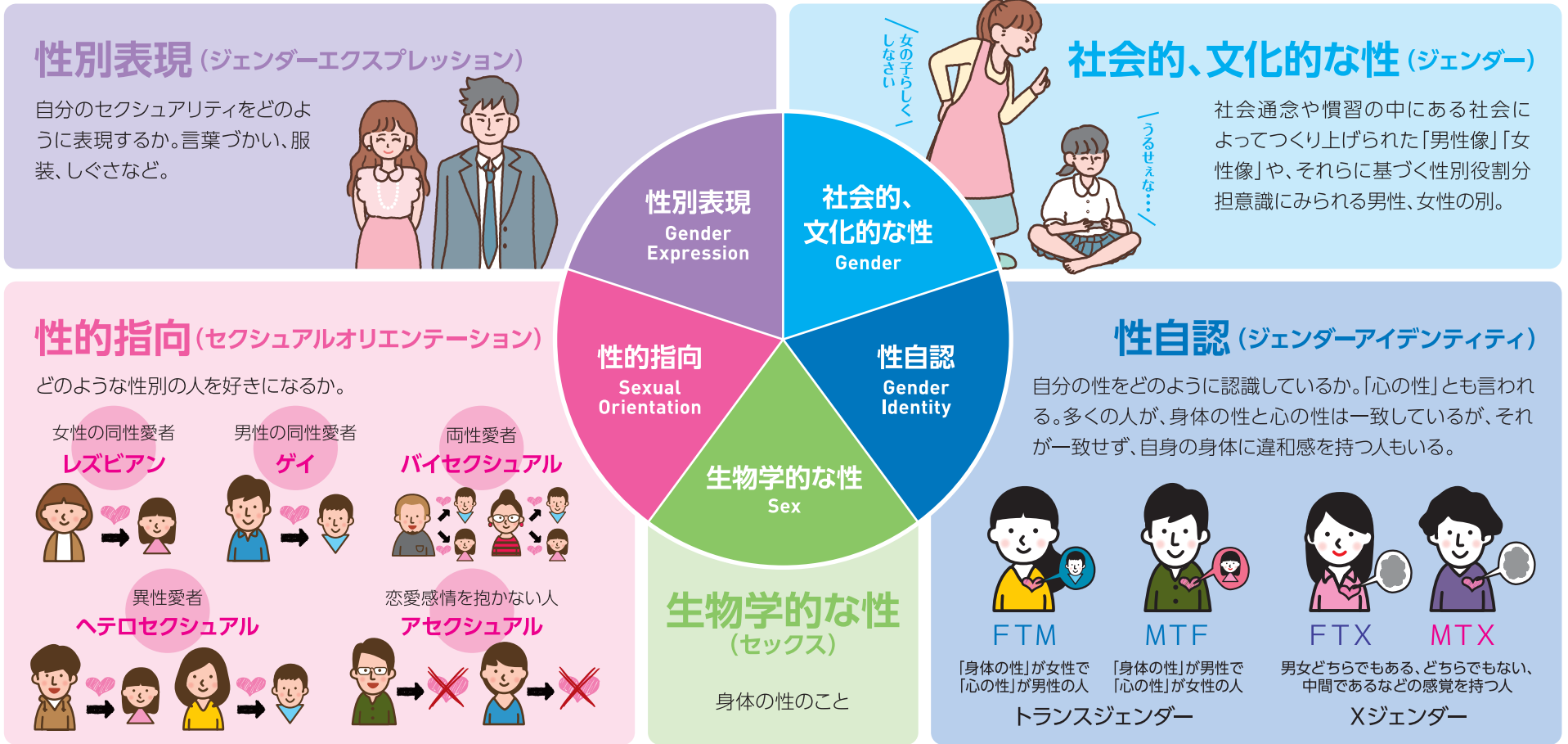
【参考文献】巽岩奈々(2011)「〇のない大人 ×だらけの子ども」集英社新書





# 知ってください 性の多様性について

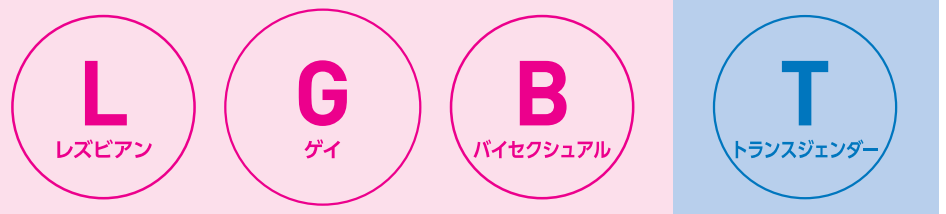
ここでは、一人ひとりの「性の在り方」をセクシュアリティと表現します。セクシュアリティは、次の5つの要素から広く捉えることができます。



最近まで、世の中には「男性」と「女性」の2つの性別しかないと認識されてきました。また、性自認や性的指向、性別表現などについて、嫌悪感をあらわにされたり、笑いのネタにされたりするなどネガティブに表現されてきました。

姿、価値観、感情などが人によって違うように、人間の性も2つのパターンに分けられるほど単純なものではありません。セクシュアリティは多様であり、個人の尊厳に関わる大切な問題です。

LGBTは、次の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的マイノリティを表す言葉の一つとして使われることもあります。



※LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない人など、様々な人がいます。

## 性的マイノリティの人たちからのメッセージ

### Aさん

学生の時はまだ、自分自身の混乱に折り合いがつかない場合があります。(自分はFTMかもしれない、でもそうじゃないかもしれない、そう自分で認めてしまったらもう変態と周りから言われるかもしれない) どのような選択をとって生きていきたいかは自分自身と向き合うしかありません。その時に少しでも話しを聞いてくださる方が近くにいたらすごく心強いです。周りが答えを出させてあげよう。楽しんであげようとする関わりではなく、個人個人のしたい生き方をそっと隣で聞いてあげてほしいと思います。

H27年度「主に岡山県内の性的マイノリティを対象とした学校生活に関するアンケート調査報告書—岡山市市民協働推進ニース調査事業—」プライド岡山より

### Bさん

生徒に当事者がいた場合の対処や配慮についていろいろ考えることも大切ですが、カミングアウトができない当事者の生徒が、学校には必ずいるということのを頭の片隅でもいいので留めておいてほしいです。近年では学校でセクシュアルマイノリティについての講演会などが実施されることが増えてきました。どうかそれが「当事者探し」につながることなく、セクシュアリティに限らず、いろんな「個性」を大切にしたい意識を持つための契機となることを期待しています。

## あなたができること

差別的な発言をしている人を見かけたら…



「そういうの、よくないよ」と勇気を持って指摘することが大切です。

打ち明けられたら…



打ち明けられたということは、あなたを信頼しているというメッセージです。まずは、しっかりとその人の話に耳を傾けましょう。

本人の了承なく、その人のセクシュアリティについて、他人に話してしまうこと(アウティング)は、その人の尊厳を傷付ける人権侵害です。

## 高校生も関心を持っています

### 岡山県高校生議会



令和元年12月の高校生議会では、性的マイノリティへの配慮として制服を見直した岡山芳泉高校の生徒が、県が学校教育の中で性的マイノリティに対してどのような取組を行っているか、質問しました。

相談  
窓口

岡山県青少年総合相談センター  
TEL.086-224-7110

岡山地方法務局 みんなの人権110番  
TEL.0570-003-110

よりそいホットライン  
TEL.0120-279-338 (無料)